

■After 建築名称 下段: 英語名	ピレリ本社ビル Pirelli Headquarters			
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス		
改修設計者	Gregotti Associati			URL
所在地	Bicocca, Milano			Google Map
改修年	2001			After オフィスに囲まれ、ガラスの屋根で屋内化された旧冷却塔
建築規模	延床面積: 14,080㎡、地下2階、地上11階			撮影者 柳沢伸也 2005年撮影
掲載書誌	https://www.behance.net/gallery/77660319/MILAN-Bicocca-district?tracking_source=search_projects Pirelli+Bicocca		概要 after 旧タイヤ工場のシンボル冷却塔をオフィスビルにリノベーション。約7分の旧工場跡地は大学や劇場、住宅、研究所などからなる文教地区に再生された。	
賞・選定				
資料・その他	https://corporate.pirelli.com/corporate/en-ww/aboutus/pirelli-headquarters			URL
■Before 建築名称	Torre di Raffreddamento(冷却塔)		概要 before 冷却塔は、継続的な生産を確保するため、1950年に建設された火力発電所の一部。後に、地区のシンボルとなった。	
建築用途	大分類 生産	小分類 工場		
■写真 Before	After	ガラスのアトリウムの中に旧冷却塔が見える	After 鉄骨で補強された旧冷却塔は会議室に転用	
写真2 Before写真				
撮影者 提供者	撮影者 柳沢伸也 2005年撮影		撮影者 柳沢伸也 2005年撮影	
■リノベーション内容	キーワード 増築、補強、産業遺産、用途変更、遺構、海外	内容 ピッコカ地区は、1970年代後半まで北イタリアを代表するタイヤ工場。1980年代以降になると、事業再編や生産工場の海外移転が進み衰退の危機に迫られた。タイヤメーカーのピレリ社は、工場の海外移転を機にミラノ市との間で、産業構造物の一部を保存した上で再開発の検討を開始した。国際コンペで選ばれたグレゴッティ・アソシエイツがマスタープランを作成し、その後、地区内のほとんどの建物を設計している。 地区内には、オペラのためのアルチンボルディ劇場や集合住宅、オフィス、大学、研究所などが誘致され、かつての工場跡地は文教地区に変貌した。 ピレリ本社ビルに隣接して、15世紀に建てられた創業の館が残っており、現在もお重要な会議や迎賓館として使用されている。文化財でもある創業の館に向かって、ピレリ本社ビルのガラスのアトリウムは設置されている。		
■備考	既存の冷却塔自体は華奢で内部に床や天井などを増築する構造的耐力が無かったため、内側に丸い鉄骨柱が補強材として挿入された。冷却塔は、5層の会議室に分けられた。旧冷却塔は、再開発のシンボルとして建設されたが、市や州による文化財としての評価はされていない。		関連資料画像	
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		SY-34	